



工事かわら版

桜川消防署庁舎建設工事

工事着工から
456日経過

仕上げ工事が最盛期を迎えています！

桜川消防署庁舎建設工事が着工して、約1年3か月が経過しました。皆様のご理解とご協力を賜り、工事は順調に進んでおります。
工事の方は仕上げ工事が最盛期を迎えており、多い日では約120人の作業員が工事を行っています。また、2月で建屋の屋根・外壁が仕上がり、外観検査を終え、外部足場の解体作業を行っています。解体作業が進むと場外からでも、新しい桜川消防署の全体の様子をご覧いただけます。
工事竣工まで残り3か月弱となりました。これからも、地域の皆様のお声を聞きながら、無事故無災害で安全な工事を行います。引き続きのご理解、ご協力をお願い致します。



12月末全景写真
(南側から撮影)



2月末全景写真
(南側から撮影)

12～2月の工事進捗状況



* 12月
外部では、外壁の押出成形セメント板・鋼板スパンドレル張りを行いました。内部では、断熱材の吹付工事を行いました。



* 1月
外部では、外壁塗装、カーテンウォールの取付を行いました。内部では、壁・天井の下地組及びボード張りを行いました。



独立訓練塔 山岳壁工事

* 2月
外部では、外装の仕上げが完了し、外部足場の解体を行っています。内部では、天井・壁のクロス張り、塗装工事を開始、竣工に向け順調に仕上げ工事が進んでいます。

建築コラム



～桜川消防署の屋根の種類～

*横一文字葺き

(東側)
横葺きの鋼板を上下千鳥配置に設け、規則性を持たせた工法。計算された精密さと迫力が感じられる。



*立平葺き(北側)

鋼板を立てるように葺く工法。シンプルでスマートな縦ラインが特徴的。



*折版葺き(南側)

長い鋼板を波型に折り曲げて作っているのが特徴で、屋根の横き方向への継ぎ目がない。



今後の工事予定

	庁舎棟	独立訓練塔
3月	仮設(足場解体)工事 内装(下地・仕上げ)工事 外構工事	山岳壁工事
4月	内装(仕上げ)工事 外構工事	仕上げ工事
5月	官庁諸検査	